

平成 28 年度県民ニーズ調査に対する審議会意見 (H28. 2. 3) と対応

委員	箇所	意見	対応
岩田 会長	全体	全体を通じて、回答する人が法律婚をしていることを前提とした表現になっているので注意が必要。	属性調査の部分では変更を検討中。ただし、経年変化を測る必要性から変更が難しい部分もある。
	問 9	国の第 4 次計画でどういう問題意識が出ているのかということを見て、項目の選び方や書き方を全体的に見直したほうがよい。	文言を修正
諸橋 委員	全体	災害の問題、防止策と災害時のこと。被災時の男女共同参画のことについての設問を入れて欲しい。	問 9 へ反映
	全体	LGBT を始めとする性的マイノリティの問題について設問の中に盛り込んでほしい。	問 8 へ反映
松田 副 会長	全体	調査対象を 18 歳以上にしてほしい	今回調査より 18 歳以上に実施予定。
	問 4	「夫の家事（育児）関連が短い」という表現を、「男性の家事（育児）関連が短い」という表現にしたほうがよい。	問の本文自体を変更
	問 10	夫婦間だけでなく、恋人間での暴力も調査したほうがよい。例えば、問 8 の B として「恋人間での行為における暴力としての認識」という設問を作ったらどうか。	H29 県民ニーズ調査で実施することとしたい。
戸山 委員	全体	属性をきちんと把握することが大事、どういうところに勤務しているのか、回答者が今どのような状況にあるのかなど、できるだけ細かいところまで把握しておいたほうが良い。	属性を増やすよう調整中（正規・非正規雇用、子どもの有無、離職経験の有無）。
	全体	回答した理由を書けるコメント欄があると望ましい。どの設問に対しても、なぜそのような回答をしたのかを書いてもらうほうが良い。	レイアウト上ページを増やすのは困難。
	問 2	選択肢が 6 段階とあるが、YES、NO でよい。	平成 7 年からの調査なので、変更は困難。
	問 2	働くからには、昇進・昇格したい、の設問については、質問の趣旨が不明であり、この位置でよいのか気になる。	前回追加した女性活躍関連の項目であり、他に適当な場所がないため継続。
	問 3	人によってすべてやっている方もいれば、まったく関係ない方もいるので、検討が必要ではないか。	継続
	問 4	上司の理解があること、との設問は、上司の理解だけでは決してうまくいかないということは皆さんも感じていると思うが、実際は同僚のほうが厳しかったりするので、上司に限定しないほうがよい。	問 4（新規）の（2）に「同僚」を追加。

	問7	総合職として期待されている働き方を、どうやって企業側が従業員に対して求めていくのかといった、もう少し踏み込んだ質問にしてもよい。	問7（新規）へ反映
	問7	場所、時間を問わない働き方を提案していくような選択肢があってもよい。	問7（新規）へ反映
大石委員	全体	介護の問題についての項目が必要である。	問4（新規）へ反映するとともに、属性調査（介護離職経験の有無）追加について調整中。
	全体	男性の転勤で仕事をやめざるを得ないという女性が多い点についての設問が必要である。	問6へ一部反映
芹沢委員	全体	性的マイノリティについては、県民ニーズ調査や今後の施策に入っていくときに、消えてしまわないように、その視点をお願いしたい。	問8へ反映
	全体	トータルな印象として、婚姻しているか、していないかという形のトーンが感じられる。	属性調査の部分では変更を検討中。ただし、経年変化を測る必要性から変更が難しい部分もある。
吉田委員	全体	他の分野での県民ニーズ調査への要望：地域の中に自分の生きがいを持てる職場が増えるということが大きいと思っている。神奈川の産業の育成のようなところにも意見を出し、女性だけではなく、これからは高齢者にとっても大きな問題。地域でも高齢者が担い手になってきてどうしたらいいかと考えているところも多く、地域でのビジネスを求めているところもあるので、そこを県が支援するようなことになればよい。	プラン検討の際に参考。
	問2	「男女の役割等に関する意識」本当の理由が知りたいので、理由を記入するようにしてほしい。	レイアウト上ページの制限があり、過去から継続して実施している質問形式であるため困難。
	問4	現代の状況に合わせた設問がほしい。育児だけでなく、介護の問題における職場での理解についてももう少し詳しく調査してほしい。	問4（新規）へ反映
	問6	正社員になれない問題を取り上げてほしい。	選択肢に入れ込み
	問10	暴力の種類を減らしてもいい。LINEの返信などの行動チェックも暴力なのだということがわかるようにしてほしい。「拘束」も暴力なのだということがわかるように。	問10へ反映